

MCC 製品インストールマニュアル

—MCC 製品をご使用される前に—

MCC 製品をご使用する際、まず同梱されています MCC DAQ CD を使用される PC へ下記手順をもとにインストールし動作させて下さい。

●目次●

1. ソフトウェアのインストール-----	3
1.1 InstaGal のインストール-----	4
1.2 TracerDAQ のインストール-----	7
1.3 DirectX のインストール-----	10
2. ハードウェアの接続(USB 製品例)-----	11
3. PCへのMCC製品の認識手順-----	14
4. 動作テスト-----	15

1. ソフトウェアのインストール

MCC DAQ CD には以下のソフトウェアが含まれております。

- 1) InstaCal (PC への MCC 製品認識、校正、テストソフト)
- 2) Universal Library (プログラミング言語用ライブラリ)
- 3) Tracer Daq
(ストリップチャート、オシロ等、デモ版バーチャルアプリケーション)
- 4) ULx for LabVIEW 8.2.1- (LabVIEW8.2.1 以降用ライブラリ)
- 5) UL for LabVIEW 6-8.2 (LabVIEW6~8.2 用ライブラリ)

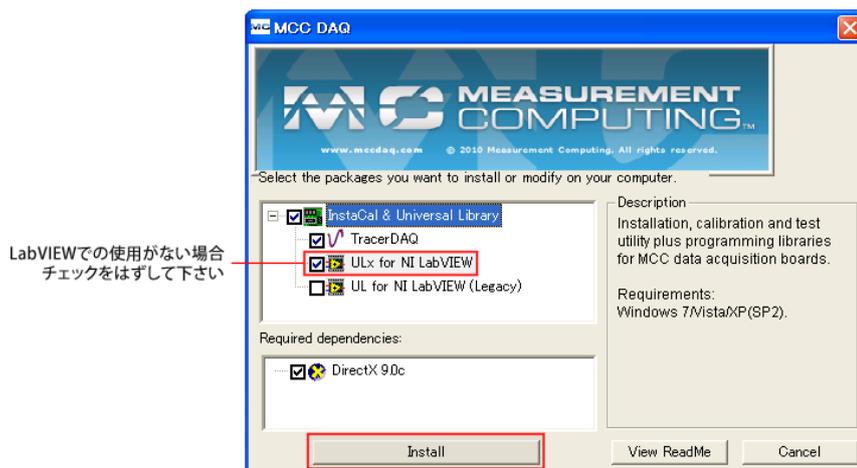
上記 1)、2)、3) のソフトウェアをインストールします。

4) もしくは5) のソフトウェアについては必要に応じインストールします。
インストール終了後、PC を再起動します。

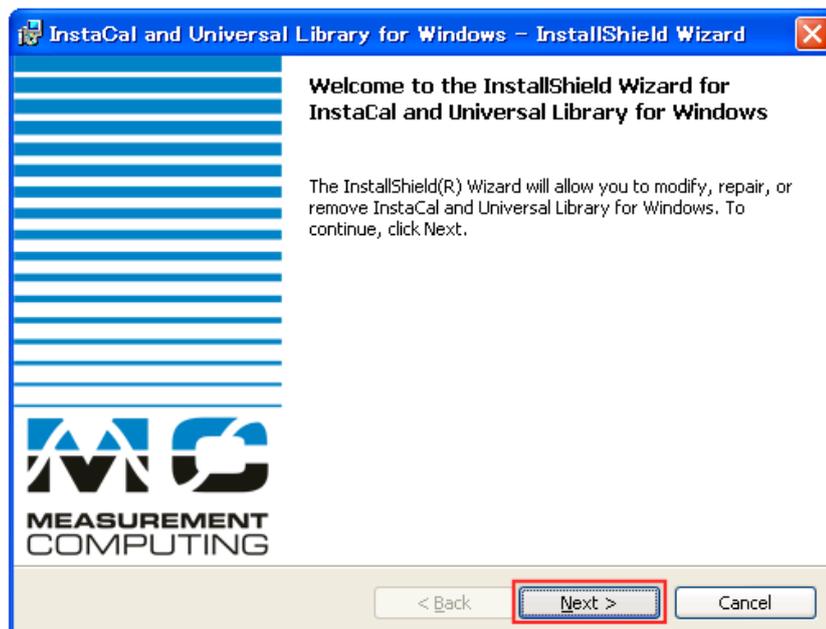
ソフトウェアのインストール（Windows 7/Vista/XP SP2 がインストールされているパソコン）をご用意下さい。

1.1 InstaCal のインストール

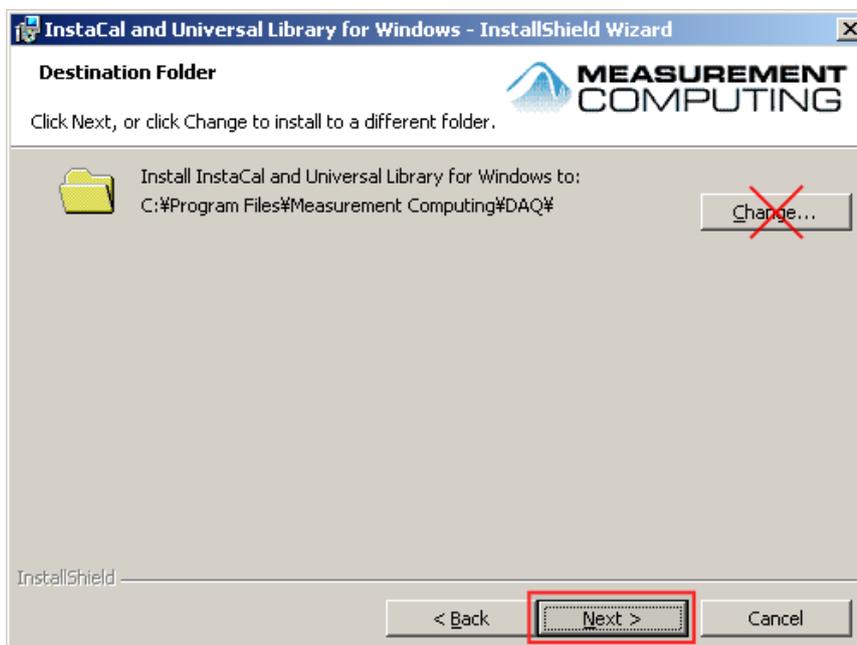
- 1) 添付のソフトウェア（MCC DAQ CD）をパソコンの CD ドライブに挿入します。
CD が自動起動し、インストール画面が表示されます。〔Install〕 をクリックします。



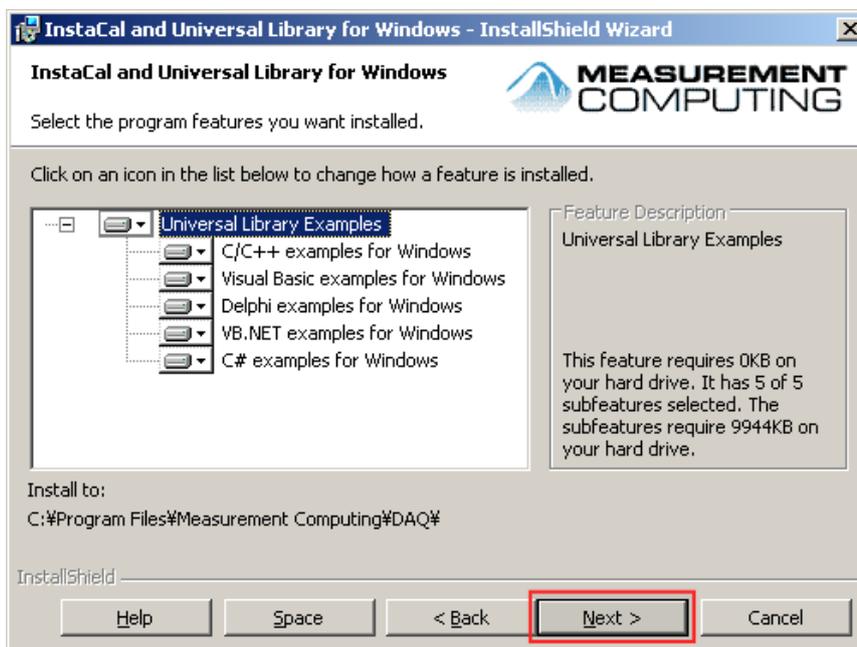
- 2) 〔Next〕 をクリックします。



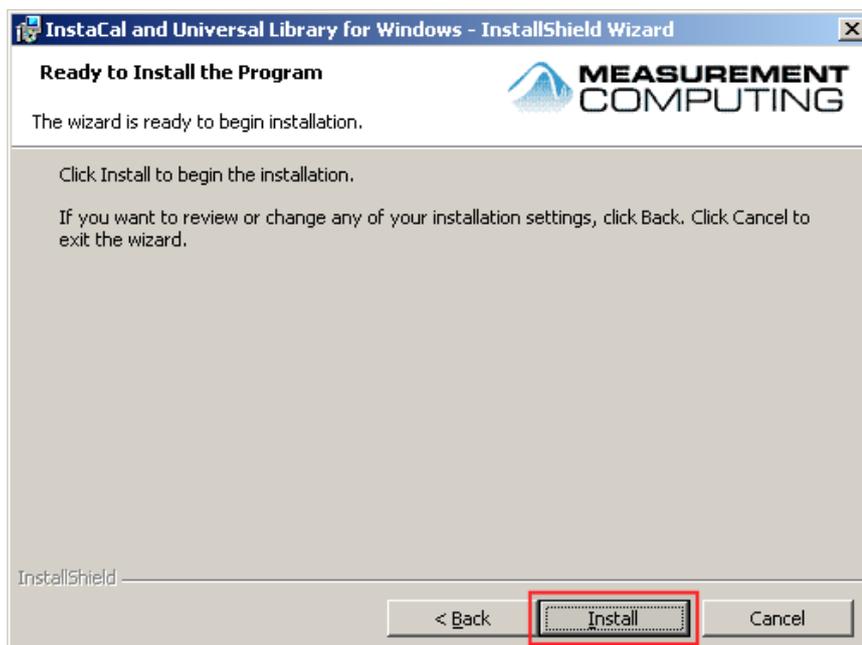
3) [Next] をクリックします。右上の [Change] は使用しません。



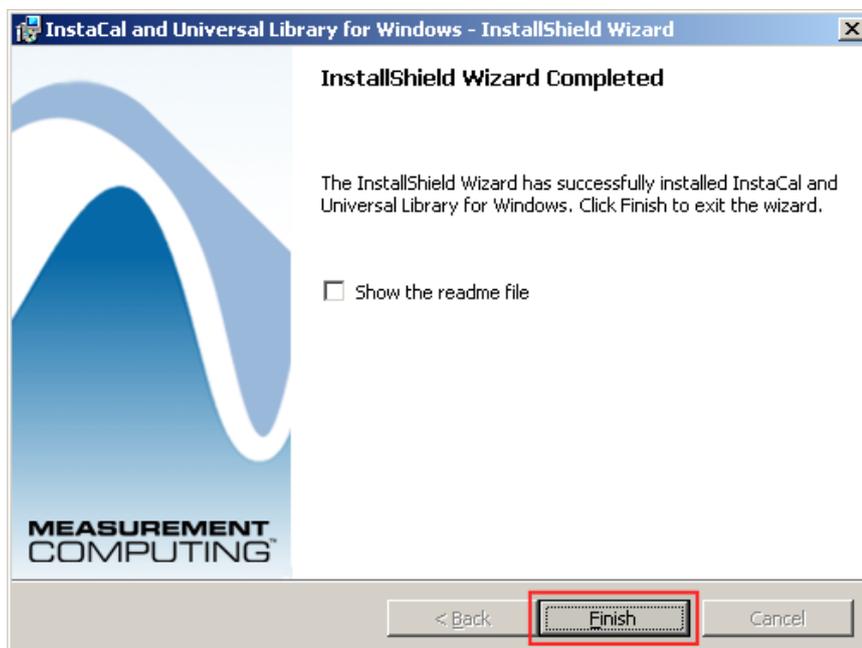
4) [Next] をクリックします。



5) [Install] をクリックします。InstaCal のインストールを開始します。



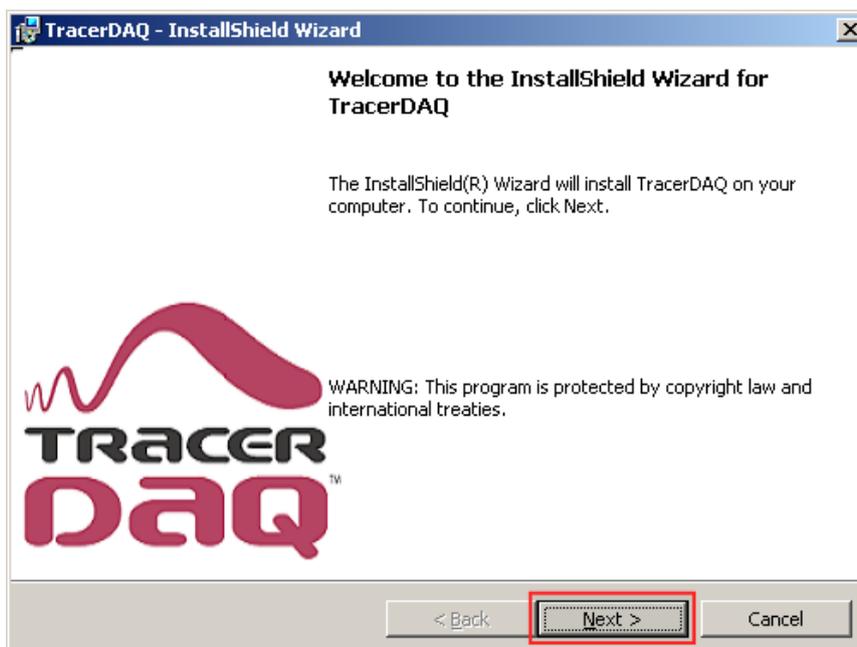
6) [Finish] をクリックします。InstaCal のインストールが完了します。



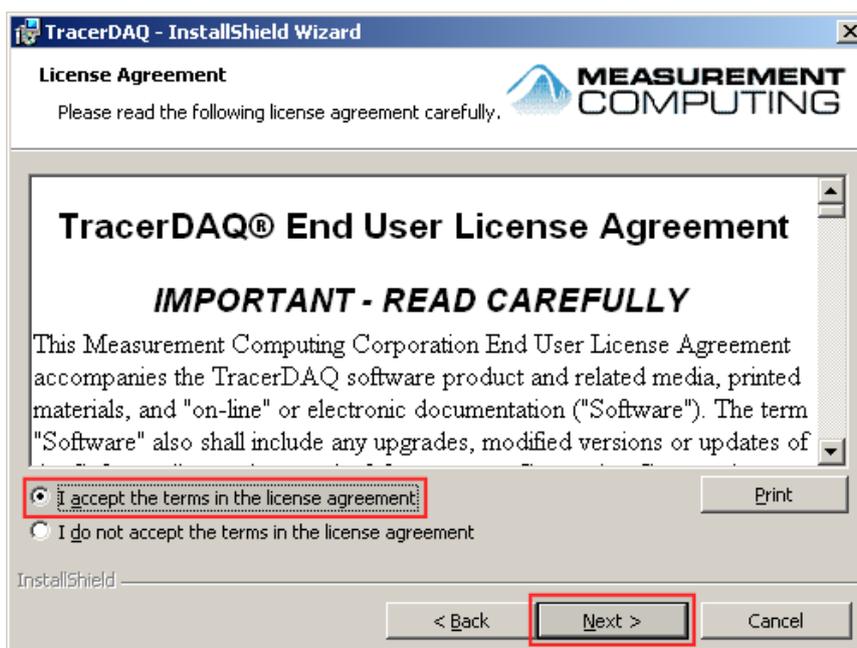
1.2 TracerDAQ のインストール

1) InstaCal のインストールが終了すると、自動的に計測制御ソフトTracerDAQ のインストールが始まります。

指示に従い、このソフトウェアもインストールを行います。[Next] をクリックします。



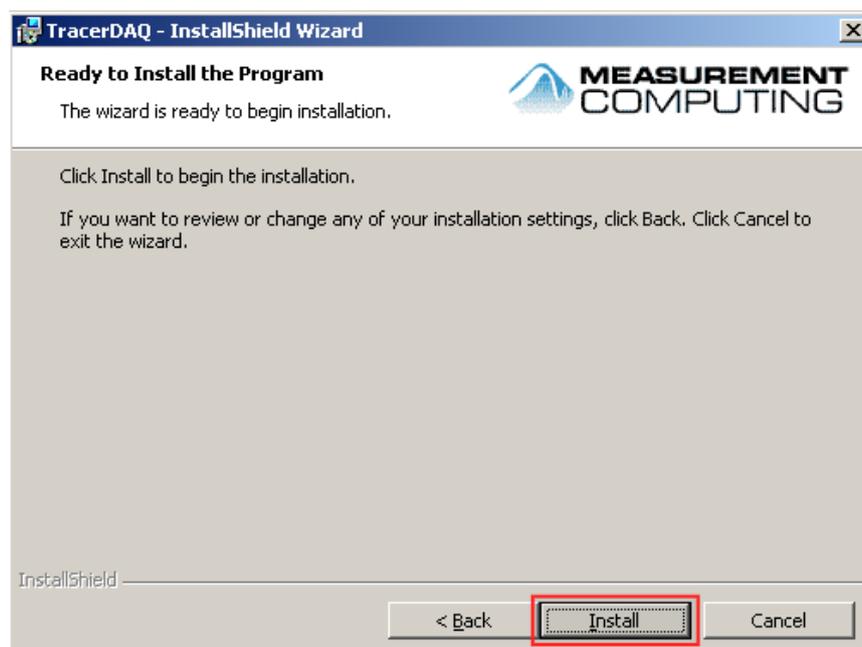
2) 利用規約が表示されます。[I accept . . .] をクリックした後、[Next] をクリックします。



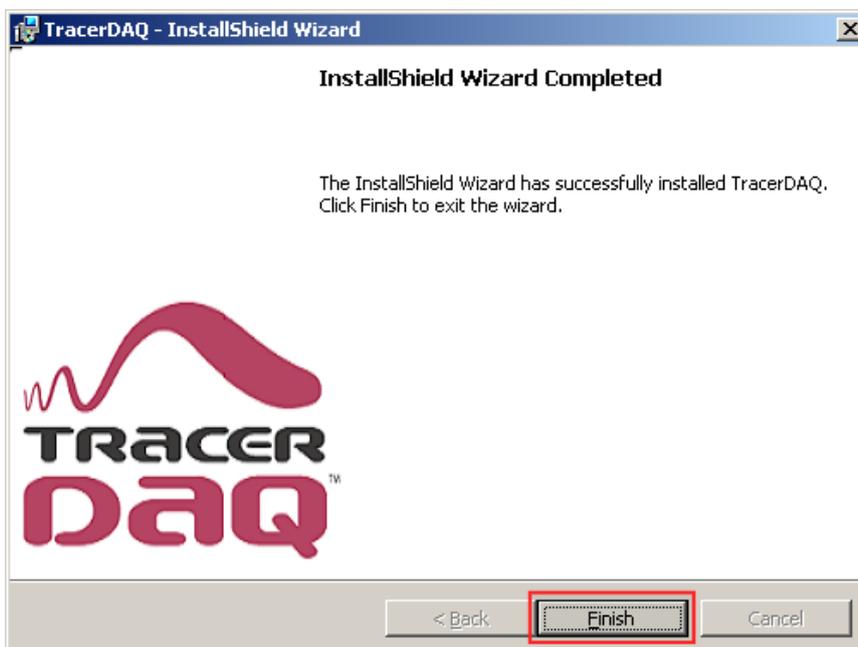
3) 名前・所属を記入し、[Next] をクリックします。



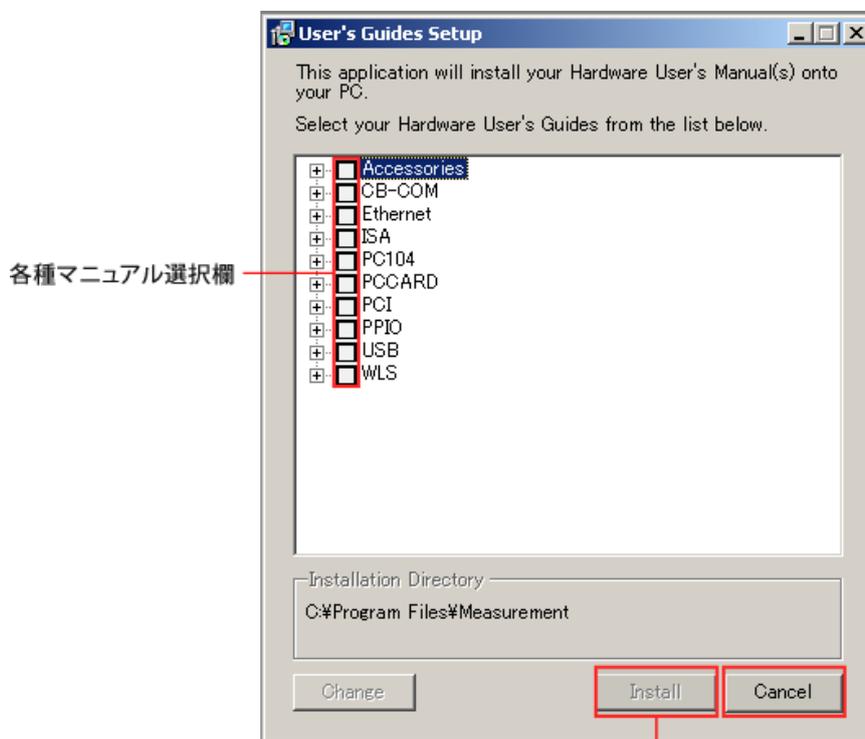
4) [Install] をクリックします。TracerDAQ のインストールを開始します。



5) [Finish] をクリックします。TracerDAQ のインストールが完了します。



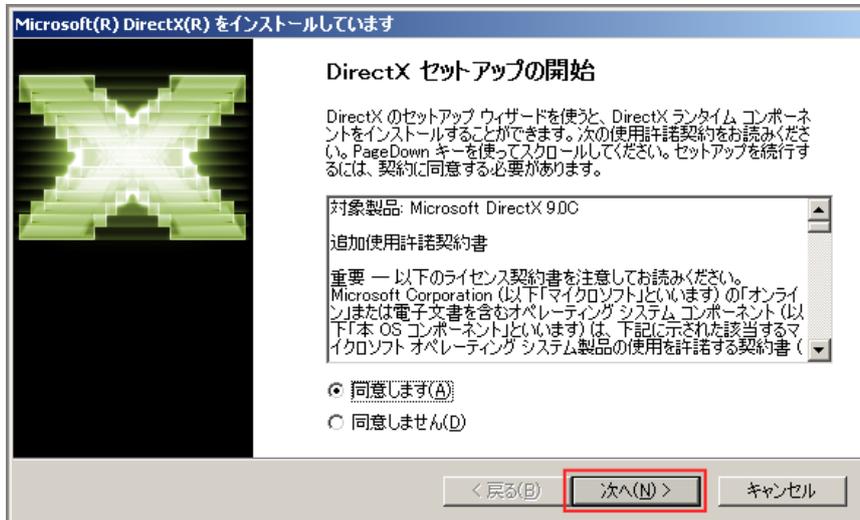
6) 各種マニュアルをインストール可能です。必要な製品群を選択してください。選択後、Intall が押せる様になりますので [Intall] をクリックします。不要であれば [Cancel] を選択します。(マニュアルはすべて英文です)



各種マニュアル選択欄に選択しますとクリックできるようになります。

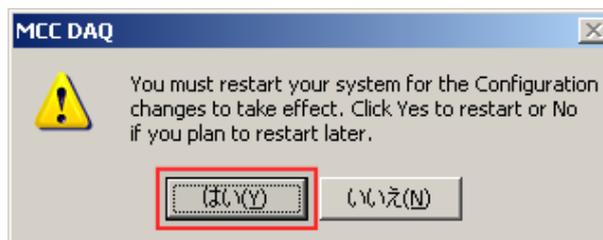
1.3 DirectX のインストール

- 1) インストールガイドに従い、インストールを行ってください。



- 2) DirectX のインストールが終了すると再起動を要求するダイアログボックスが表示されます。

[はい] を選択し、パソコンを再起動してください。



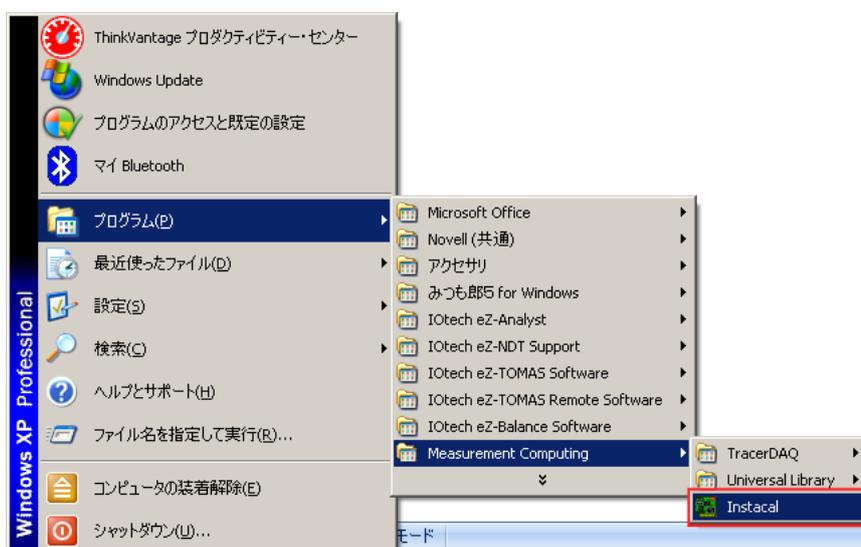
以上でソフトウェアのインストールは終了となります。

- ※1 ハードウェアの接続は、ソフトのインストールが終了し、パソコンの再起動後の段階でお願いいたします。
ソフトウェアインストール前に接続されると正常に認識されない可能性があります。
- ※2 ハードウェアの接続を解除する場合、Windows の「ハードウェアの取り外し」は使用なさらないでください。機器の取り外しが正常に認識されない場合があります。
必ず InstaCal ソフト上からハードウェアの取り外しを実行するようお願いいたします。

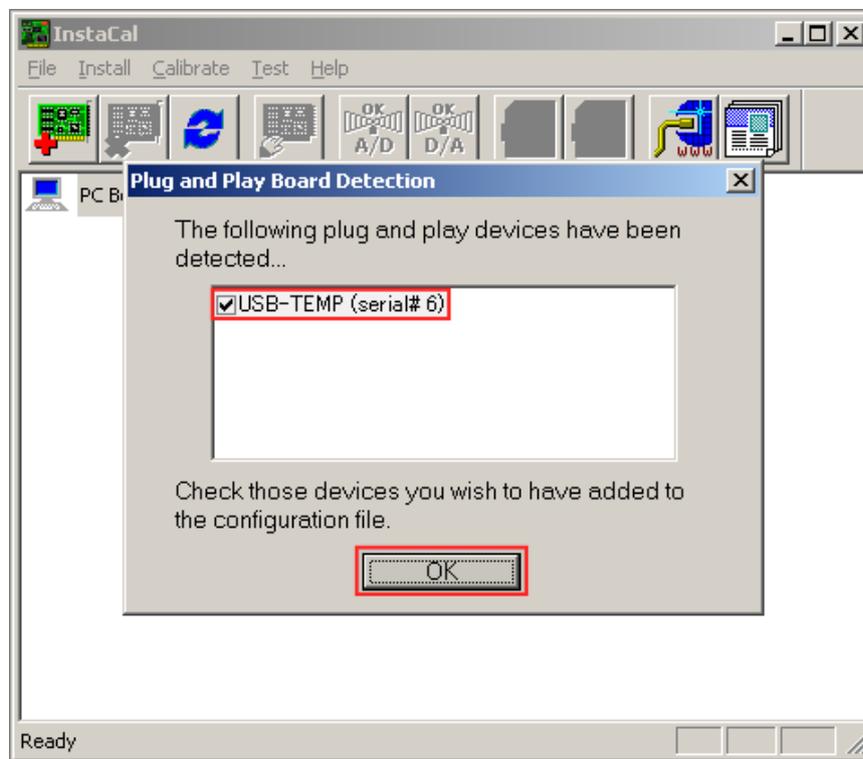
2. ハードウェアの接続(USB 製品例)

USB 接続によるハードウェアの接続を行います。

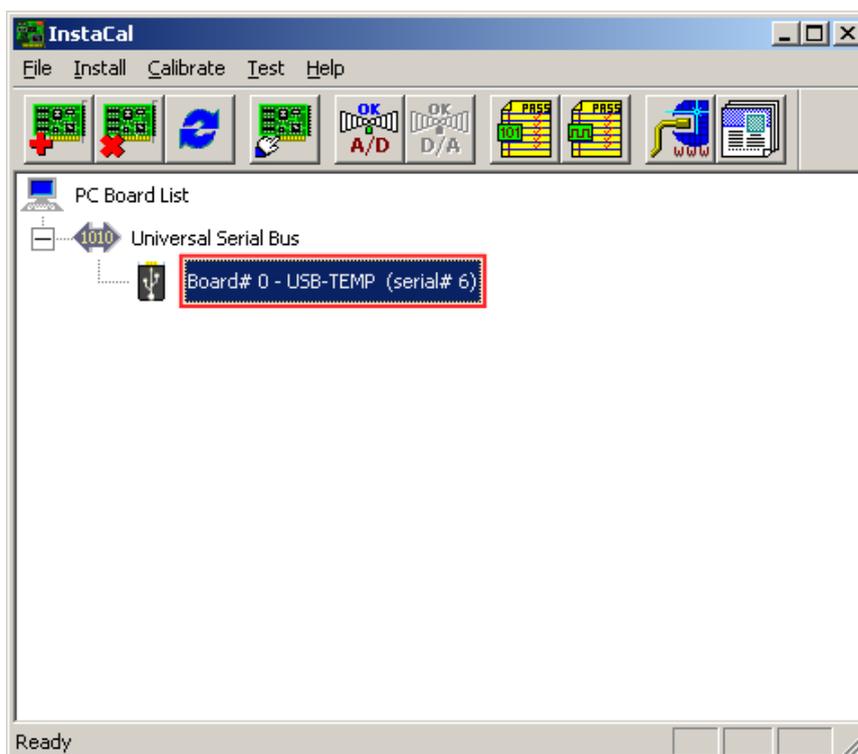
- 1) パソコンの USB ポートに USB ケーブルでハードウェアを接続します。
- 2) ハードウェア側の LED が点灯し、接続が完了となります。
- 3) Windows のスタートメニューより [スタート] → [プログラム]
→ [Measurement Computing] → [InstaCal] の順番で選択します。



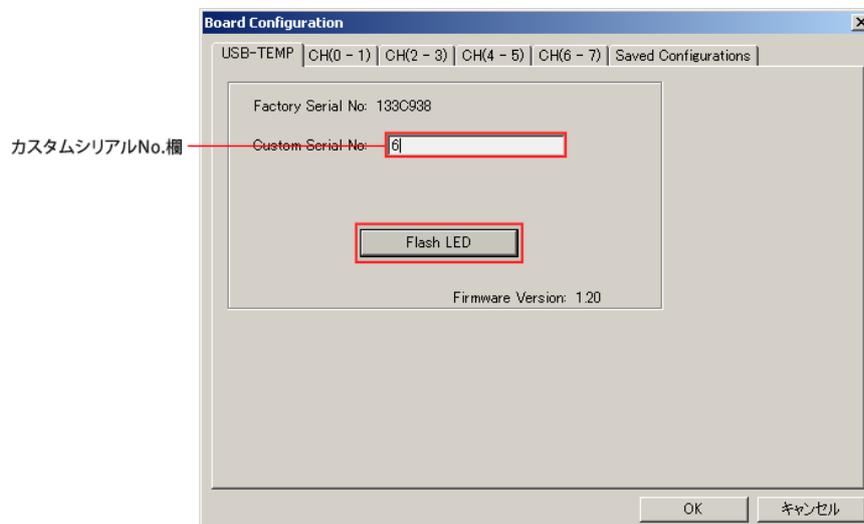
- 4) InstaCal が起動すると自動で USB ポートに接続した機器を認識します（今回は USB-TEMP を使用しています）。機器が認識されているのを確認し、[OK] をクリックします。



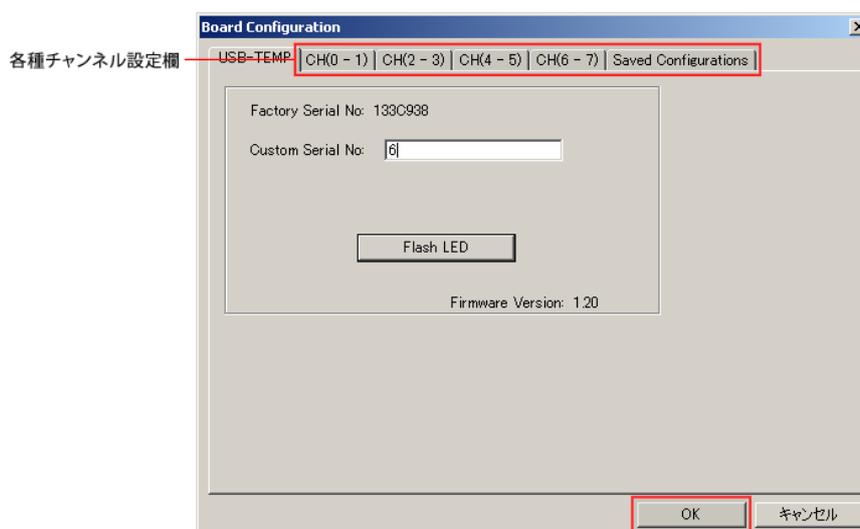
- 5) 認識されたハードウェアをダブルクリックします。



- 6) カスタムシリアル No. は任意に名前を変更可能です。ご使用用途に合わせお好みで変更ください。また、[Flash LED] をクリックし、接続が正常に行われていることを確認します。



- 7) 各種チャンネル設定などを行い、[OK]をクリックすることでハードウェアの接続は完了です。(設定内容は製品ごとに違うものとなります)



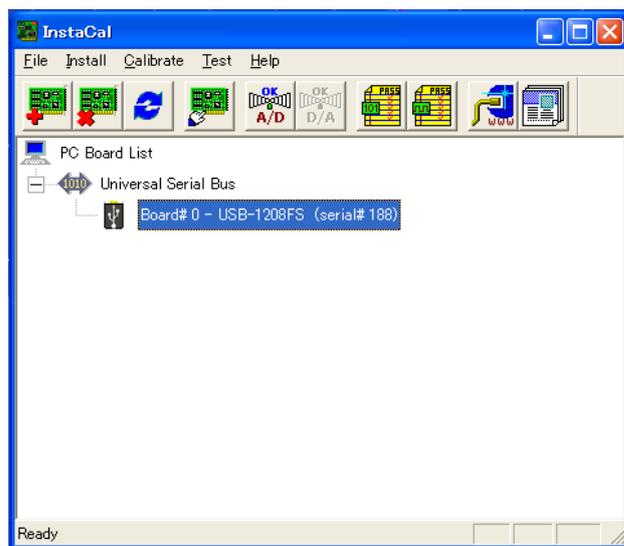
3. PC への MCC 製品の認識手順

(USB-1208FS での使用例)

- 1) PC の USB ポートへ MCC USB-1208FS を繋げます。
- 2) MCC USB-1208FS に通電の LED が点灯します。
- 3) [スタート] メニューより [プログラム] → [Measurement Computing] → [Instacal] を起動します。
- 4) USB-1208FS を認識した表示がでますので [OK] をクリックします。

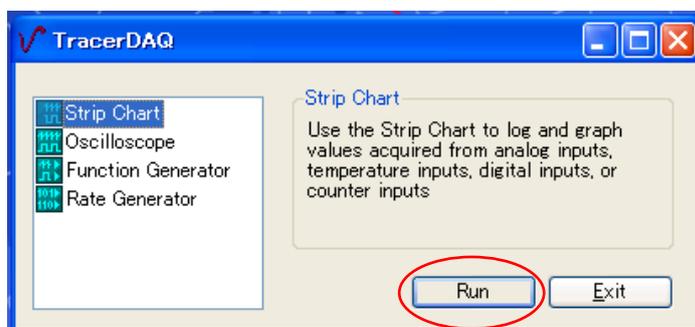


- 5) これで PC に MCC USB-1208FS が USB バスを介し接続され、使用可能となりました。



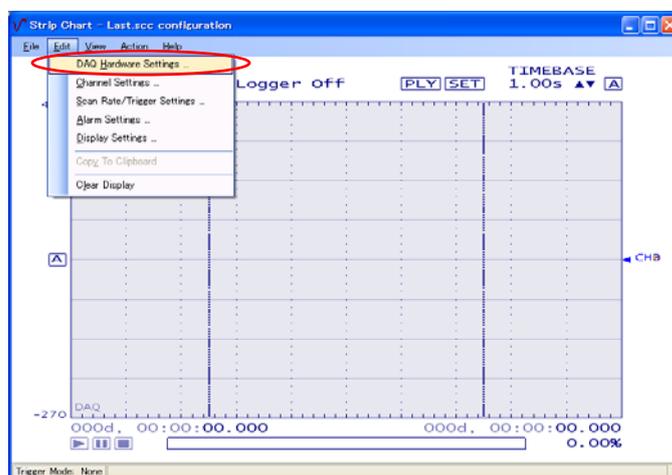
4. 動作テスト

- 1) [スタート] メニューより [プログラム] → [Measurement Computing] → [TracerDAQ] → [TracerDAQ] を起動します。

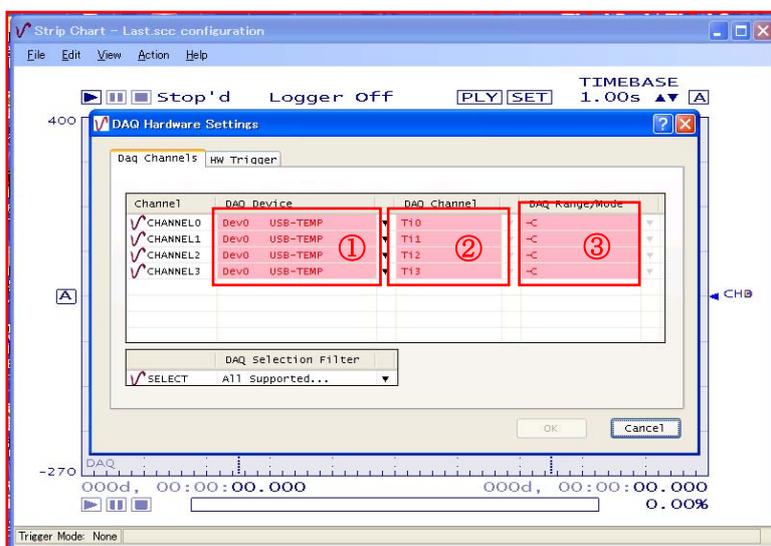


ロギングを実施するために [Strip Chart] を選択し、[Run] をクリックします。

- 2) MCC ハードのセッティングを行うため、メニューバーより [Edit] → [DAQ Hardware Setting] をクリックします。



3) セッティング画面上に、未設定項目が赤く表示されます。



各項目を下記のように選択します。

①Daq Device

PC に接続している製品を選びます。(今回は USB-1208FS)

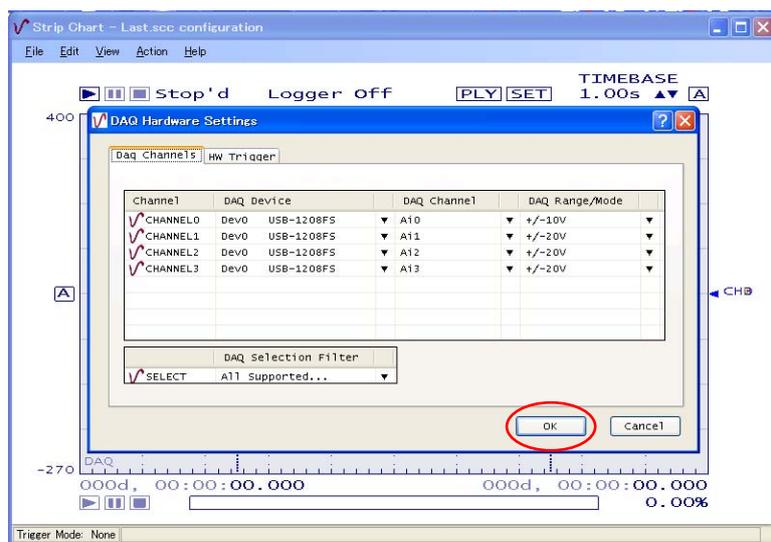
②Daq Channel

入力 ch を選びます。

③Daq Range/Mode

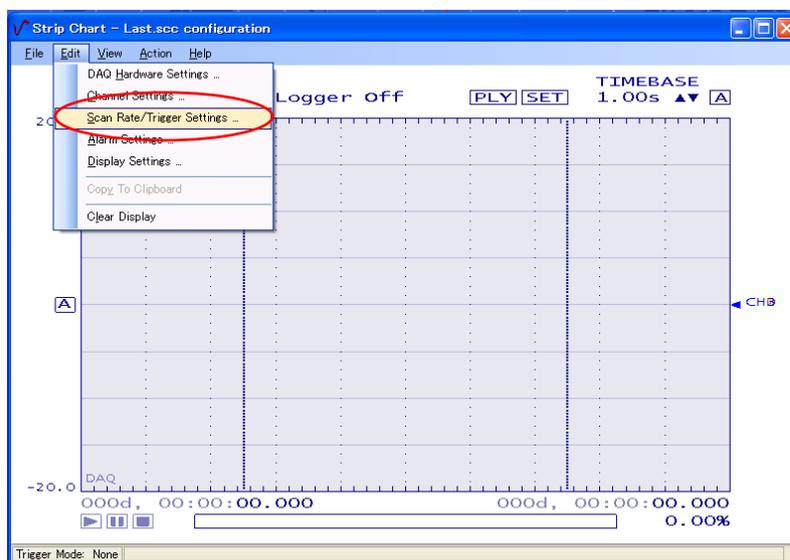
入力電圧レンジを選びます。

4) それぞれ用途に合わせ選びましたら、[OK] をクリックします。

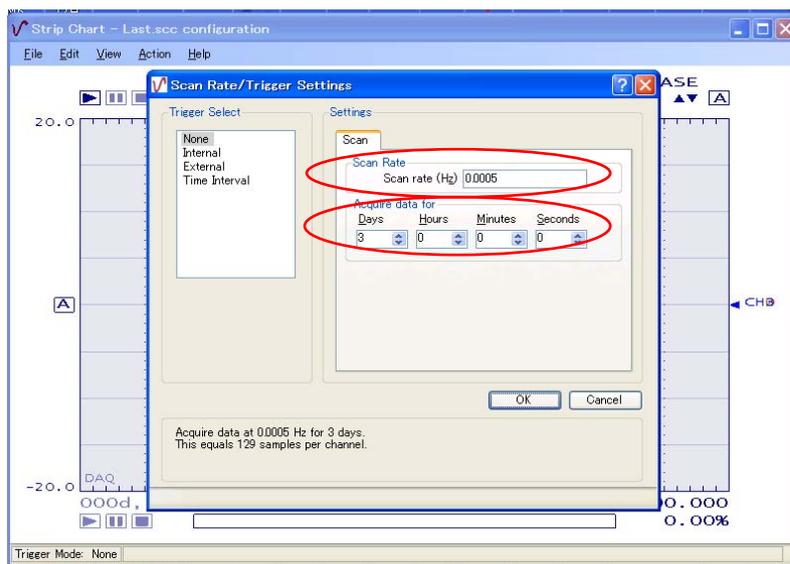


これで、使用製品 USB-1208FS、入力 ch、入力レンジが決定されました。

- 5) 次に、サンプリングレートを決定します。
メニューバーより [Edit] → [Scan Rate/Trigger Setting] をクリックします。

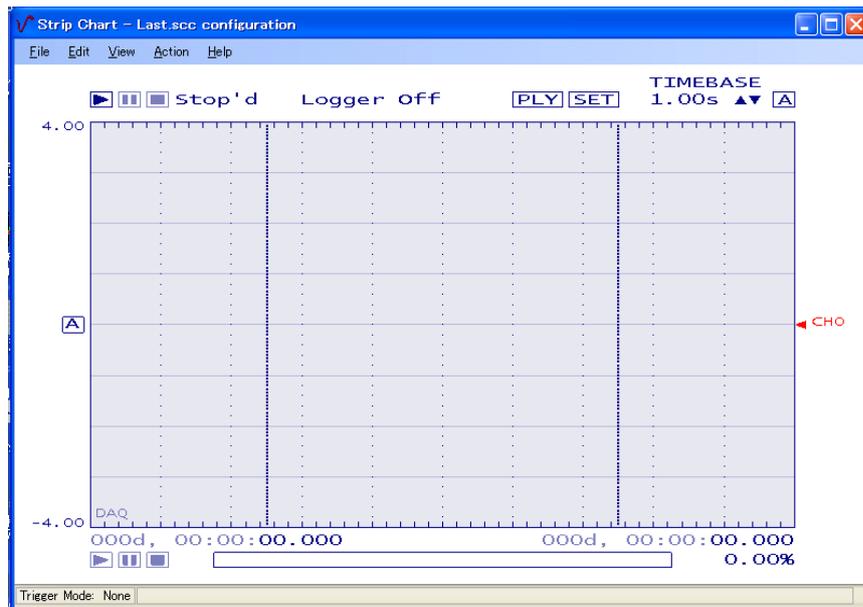


- 6) [Scan Rate] にサンプリングレートを入力し、[記録時間] を決定します。
本 TracerDaq (デモ版) は 2ch 表示、ch 当り 32k サンプル分の記録が可能です。
入力した Scan Rate 及び、記録時間によって記録サンプル数やエラー内容が表示されます。



- 7) 測定状態画面は、メニューバーより Edit→Channel Setting をクリックしますと表示されます。

測定開始状態



測定結果状態

